

Kandai Style

2019.7 Vol.476
関西大学通信



夏の旅の準備をしよう

夏の旅の準備をしよう

春学期試験が終われば夏季休業。学生の皆さんはどのように過ごしますか？

今月号の特集では、旅行愛好家による体験談や学生旅行の傾向、これから旅行に行く学生へのアドバイスを紹介しています。学生時代にしか経験できない、とっておきの旅に出ましょう。



11カ国・40都道府県への旅

理工学研究科M2
福井 敬明 さん



これまで東南アジア、南米など11カ国、国内では40都道府県くらいを旅しました。きっかけは子どもの頃にもらった父のイギリス土産。サッカーにハマっていた私のために、中田英寿選手とベッカム選手のユニホームを買ってきてくれたのです。これが私の外国への憧れをかきたてました。

大学に入って最初に3週間ほど、タイ、カンボジア、ベトナムに出掛けました。1泊500円くらいのゲストハウスを使う旅でしたが、交通標識を無視する危険なドライバーや料金を釣り上げるタクシー運転手、ぼったくりの物売りなどからわが身を守る、毅然たる態度の大切さを学びました。

ペルーのマチュピチュやボリビアのウユニ塩湖などの雄大な景色が忘れられませんし、旅先で知り合った70代の日本人女性やイギリスの高校生らとは今でも付き合いがあります。

これから海外に出かける後輩へのアドバイスと1冊のおススメ本

事前の入念な準備が大切で、アメリカでは毎日殺人事件が起きている地区の地図をスマートフォンで確認しながら歩いたほどです。Wi-Fiは必需品。旅の案内本はダイヤモンド社のガイドブック『地球の歩き方』で十分です。

旅する中で出会った光景が人生を変える

社会学部
溝口 佑爾 准教授

大学2年次生の冬休みに1カ月間、インドを旅しました。きっかけは、同級生が1カ月間インドに行ったと聞き、私も行きたいと思ったことです。出発日と帰国日、ヒन्दゥー教の聖地であるバラナシに行くこと以外は何も決めず、飛行機のチケットを取りました。スケジュールは、現地で感じたことや出会う人と交流する中で流れに任せて決めていきました。一人旅だったので、旅先で出会う旅人、現地人との交流が面白い。バラナシはインド人にとって求心力のある聖地です。朝はガンジス川を包む銀色の世界が広がり、夕暮れにはろうそくをのせた小舟がたくさん流れていく。そこで

しか体験することができない時間を得られました。信じられないことばかりが起こる毎日、しかしそれでいて緻密に成り立っている社会を経験したことで、自分の物の見方が凝り固まっていたことを実感し、その後の自分の在り方を想像するきっかけになりました。

旅には、それまでの人生があるからこそ出合える光景があります。そして、その光景が、その先の自分の人生を変えるきっかけになることもあります。好きに旅ができるのは学生の間だけ。工夫すればお金をかけなくても出掛けることはできるので、ぜひ旅に出てみてください。



インドでのホーリー祭にて



卒業旅行のキーワードは早期化・複数化

関西大学生協同組合トラベルマネージャー
都野田 賢司 さん



最近の学生はインターネットから申し込むことが多く、生協での国内旅行の申し込みは減っています。海外旅行の利用者は横ばいですが、留学を希望する学生が増えています。語学のスキルアップのために、春休みや夏休み期間の1カ月から6週間を留学にあてているようです。

また卒業旅行は早期化しています。これまで2月~3月が卒業旅行の季節でしたが、早い学生は夏休みを利用して海外に行くようになりました。ゼミやクラブ、高校時代の友人などメンバーを替えて複数回の卒業旅行に行く学生も増えてきました。実際にあったケースですが、一人の学生が一旦帰国して、翌日、再び同じコースの旅行に行ったことがありましたよ。

学生に人気のある旅行先は、国内では沖縄、北海道で、海外ではヨーロッパ(フランス、イタリアなど)、アメリカです。国内、海外ともインスタ映えを狙った旅行が増えているのが実感です。

生協ではLINEでお得な情報を提供していますので、生協HPにアクセスして登録してください。そして、旅行を計画したら生協窓口にご相談に来てください。他の旅行会社の内容をよく見てアドバイスしたいと思います。生協では良いもの、喜んでもらえるものを販売しています。楽しい旅行をしてほしいですね。

学生時代の旅行は失敗したことも良い思い出になる

学生時代の旅の思い出と言えば、4年次生のときに行ったニューヨークへの卒業旅行です。初めての海外旅行だったのですが、野球が共通の趣味の友人と2人で、飛行機のチケットやホテルを手配する個人旅行でした。ちょうどイチロー選手がニューヨーク・ヤンキースに移籍した年で、「イチローが出場するゲームを見たいね」と話したのが旅行のきっかけでした。英語があまりできなかったので、ゲームのチケットをウェブサイトですりかきながら取ったり、乗った飛行機が真夜中に現地に着いたため街の中心部に行くバスもタクシーもなく約5時間も空港で過ごしたり、やっとたどり着いたホテルは鍵が閉まっていた入れな

かったりしたことも、今となっては良い思い出です。旅行会社を利用するツアーでは、専門知識のある人がアドバイスをくれるので、自分が思い描いていた以上の旅行ができますし、私がニューヨーク旅行で経験したような時間のロスはありません。でも、それは大人になってからでもできるので、学生のうちはせっかくなら旅行をアレンジすることを楽しむのも良いのではと思います。いろいろと考えて旅行をするのは教養にもなりますし、失敗したとしても時間がたてば笑い話になります。



株式会社JTB
嶋崎 友祐 さん
(2013年政策創造学部卒業)

注意事項 海外に行くときは

昨今の治安情勢を踏まえ、海外渡航前・滞在中は常に「自分の身は自分で守る」という心構えを持って、最新の情報を入手し、不測の事態に巻き込まれないよう安全対策に努めてください。

① 外務省「海外安全ホームページ」から最新の情報を入手し、各種危険情報・スポット情報が発出されている国・地域への渡航・滞在を避ける。

② 出発までに外務省が実施している渡航登録サービス「たびレジ」に登録する。
※外国に住所または居所を定めて3カ月以上滞在する人については、「在留届」が必要。

③ 緊急時に備え、世界各地の治安情勢や現地の緊急連絡先を閲覧することができる「海外安全アプリ」(外務省提供)をダウンロードしておく。

④ 長期・短期にかかわらず、旅程・滞在先・旅行会社等を保護者(保証人等)に伝え、適宜無事を確認(有事の際には安否確認)できるよう、連絡体制を確認しておく。

『かんだい LIFE』(入学式で配布)でも「海外へ行くときの基礎知識」を掲載しています。



ソーシャルメディアの危うさ、知っていますか?

アンケート期間:5月10日~5月31日
対象者:関大生 回答者数:136人

アルバイト従業員がTwitter等に不適切な動画や画像を投稿し、炎上したことが社会問題化しました。今一度ソーシャルメディアに潜むリスクや活用方法を考え、トラブルや事件を未然に防ぐ対策を行いましょう。

学生の声 | ソーシャルメディアを利用する際に気を付けていることやトラブルの経験、今回の炎上問題に対する意見など、学生を集めました。

投稿内容や投稿する時間を工夫している。また、住所や学校などを公表しないこと、仲が良い相手であっても無許可で顔を載せないようにしている。
社会学部3年次生

公開アカウントだと怪しい仕事の勧誘などがフォロー、DMでまわってくる。
法学部1年次生

自分の発言・行動がいかに世間に見られているのか、よく分かる。そのため、自分が投稿するだけでなく、他人が投稿する可能性もあるので、普段から責任ある行動をしなければならない。
化学生命工学部1年次生

政治的な投稿など個人の意見を含む投稿には、投稿者を攻撃する意図のコメントがつきやすく、見てしまうと不快になるのでコメント欄は見ないようにしている。
社会安全学部1年次生

ダイレクトメッセージをフォロー、フォローワンの関係になくても送信できるようになってから、知らない人から毎日連絡が来たりして怖かった。
商学部3年次生

投稿する前に冷静になれるのかと思う。投稿すれば完全にインターネット上から消し去ることはできないし、こういった問題を見ると自分も責任を持ってSNSを使うべきであると思う。
商学部1年次生

思ってもみないような情報が個人の特定に使用されることがあるので、なるべく自分の情報は投稿しないようにしている。
文学部2年次生

LINEなどのメッセージのやりとりができるSNSは、陰で悪口を言われているんじゃないかと思うことがある。
法学部2年次生

もっと周りへの影響やSNSの恐さを考えてから投稿するべきだと思う。投稿で、今後の人生が左右されることもあるということを普段から念頭にしておくべきだ。
法学部1年次生

友達と遊んだときやクラブ活動の写真を載せる時に、顔が写っている場合は、TwitterやLINEに載せていいかという事前確認を取るようになっている。
社会学部4年次生

Instagramをよく利用するが、ビジネス系アカウントからよくフォローされることがあり、大変不快に感じている。これもどこからかアカウントの情報が流出しているのではないかと、と思うときがある。
システム理工学部4年次生

内輪ノリとして盛り上がっているのか注目を集めたいのかは分からないが、多方面に迷惑をかける行為であることには変わりないため、不適切な投稿は控えるべきだと思う。しかし、不適切投稿をした者の個人情報特定して晒す行為は、やりすぎだと感じる。
政策創造学部4年次生

自分の位置情報が分からないようにする、車のナンバーを隠す、旅行中の写真は時差で投稿するなど、個人情報情報が分からないようにしている。
心理学研究科M1

Twitterの画像を悪用されて、なりすまされたことがある。
外国語学部1年次生

ソーシャルメディアは使い方を適切にすれば、問題なく快適に使えるものだと思う。
法学部4年次生

プロフィール欄に大学名、学部名、何年次生かを記載して誰かを分かるようにした上で、鍵アカウントにして知り合い以外に見られないようにしている。
総合情報学部2年次生

他人のSNSに無断で載せられたのは嫌だった。
社会学部2年次生

不特定多数の目に触れるということを理解せずに利用しているわけではないと思うが、面白いことをしているので見てほしい、「ヤバ笑」で終わるだろう、などと軽い気持ちで投稿をしていると思う。Instagramのストーリーは24時間で消えるので特にそういう気持ち強いのだと思う。
文学部2年次生

自分の自己満足で他人を傷つけることをしない、また性的、人種、宗教などの部分の投稿には気を付けている。
理工学研究科M1

中学生の頃、Twitterに名指しではないが、悪口を書かれたことがある。そのページを印刷して学校の先生に相談し、書き込んだ本人に消すように直接頼んだ。
社会安全学部1年次生

暴力的な発言や、他の人を傷つけたり誤解を生まないような言葉遣いに気を付けている。
商学部1年次生

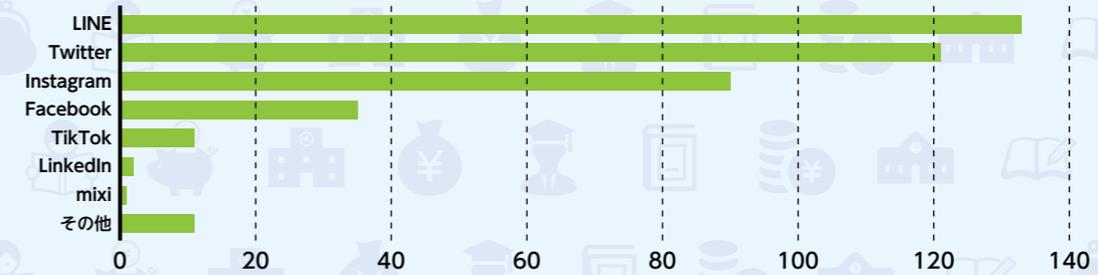
個人に対してメッセージを送るときには、普段の会話のときのように、話す相手がどんな人かを考え、その気分を書さないように気を付けている。
社会安全学部1年次生

フォローしても、されてもいない人物から定期的にSNSを監視されていたこと、鬱陶しい絡みをされたこと。
文学部1年次生

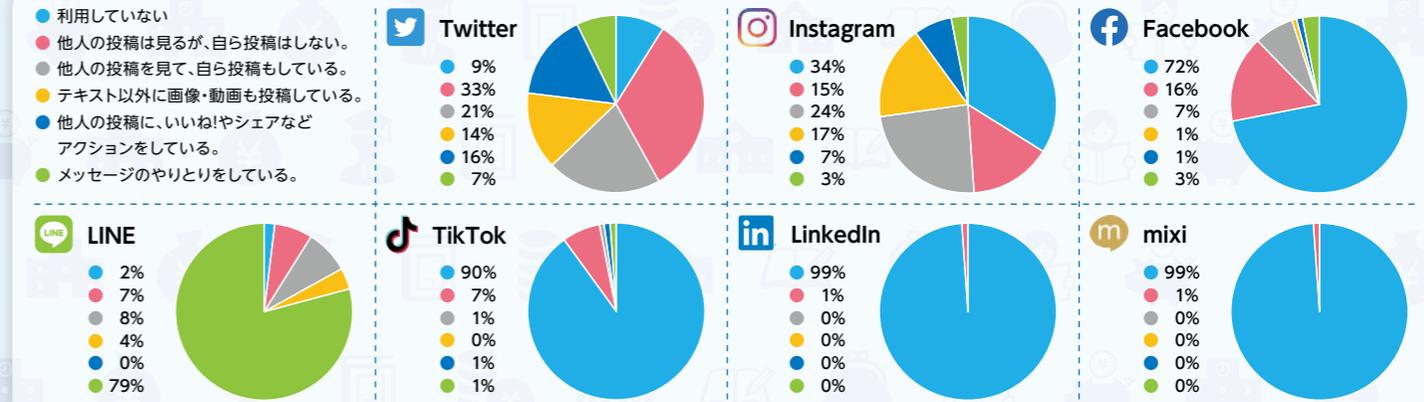
自分の行いが近い未来にどう影響するのか、どうして考えることができないのか不思議である。ソーシャルメディアの扱い方を学ぶ機会を小学生のときから教えるべきだ。
経済学部1年次生

少しテレビ側が騒ぎすぎていると思う。これまでにあまりないニュースなので大人の方たちは意見を言いたがっているようだが、学生側からするとそこまで興味はない。
システム理工学部1年次生

利用しているソーシャルメディア



各ソーシャルメディアの利用状況



関西大学ソーシャルメディア利用に関するガイドライン

本学は、本学関係者（学生・生徒、教職員等）が個人の責任において行う自由な言論活動やコミュニケーション活動を尊重しています。これは、ソーシャルメディアについても変わるものではありません。多くのソーシャルメディアは正しい利用を心掛ければ、非常に有益なツールとなりますが、不適切な利用をした場合、自分だけでなく、周囲の人々にまで被害が及ぶことがあります。私たちが一人ひとりが、関西大学の一員であることを自覚し、ソーシャルメディアの影響力を認識して利用してください。

【ソーシャルメディアとは】
ソーシャルメディアとは、ユーザー同士が情報を交換（送受信）することによって成り立っているメディアのことを言います（SNS [Facebook、Twitter、mixi、LINE、ブログ]、電子掲示板など）。

- 【情報発信の際の注意点】**
- 1 国境や人種、文化を超えて世界的影響力をもつメディアであることを忘れないでください。
 - 2 日本の法令を遵守することはもとより、諸外国の法令や国際法規についても遵守してください。
 - 3 個人情報、機密情報、占有情報等の提供はしないでください。
 - 4 第三者のコンテンツを使用する場合は、コンテンツの使用許可を得た上で、必ず投稿の中に権利所有者を明記してください。
 - 5 本学関係者として、資質を問われかねないような発言や投稿（特定の個人・団体への誹謗中傷や差別的な内容等）は控えてください。あなた自身と本学の名誉や信頼を損なう恐れがあります。
 - 6 発信された情報は、後に削除しても、記録として恒久的に残る可能性がある点に留意してください。

学生センターからのお知らせ

SNSを利用したビジネス（いわゆるネットワークビジネス）に関連するトラブルが大学生の間に急増しています。

ケース①
「簡単に儲かるビジネスをしませんか？」などと勧誘され、ビジネスを始める際に高額請求されたり、強引に勧誘されることで発生するトラブル

ケース②
情報商材の販売で次々と高額な商材を購入させられるというトラブル

このようなトラブルが知人の紹介で発生しているケースもあります。これらのケースには、くれぐれも注意してください。
なお、ネットワークビジネスに関連してお困りのことがあれば、最寄りの消費生活センターまたは学生生活支援グループ、各キャンパスオフィスの窓口にご相談ください。



PROFESSOR'S COMMENTS 総合情報学部 岡田朋之教授

ソーシャルメディアに限らず、ネット上に一度投稿したデータ（テキスト、画像等）は、誰かの目に触れた瞬間からもう消すことはできない可能性が生じます。TwitterやInstagramの鍵つきアカウントやLINEなど、よく知っている関係の人しか見えないような場合でも、送信して自分の手を離れた瞬間からどのように扱われるかわかりませ

ん。それでは何も書けない写真も上げられない、と思われるでしょうが、負わなければならない責任とリスクを踏まえて使うのであれば、ソーシャルメディアは私たちにとっての力強いツールになります。また当然のことですが、優れた武器は使い方を読めば自分も他人も傷つけてしまいます。表現の自由も人権を侵すものであってはなりません。ヘイトやハラスメントにあたる発言は表現の自由を盾に認められるものではないことを肝に銘じておくべきです。例えて言うなら、人に面と向かって言えないようなこと、人前で見せられないようなものを投稿すべきではない、ということです。

次回のテーマは…「SDGsに関する意識調査アンケート」

持続可能な世界を実現するための国際目標「SDGs」。
次号の10月号では、「特集」と「関大誌上教室」でSDGsを特集します。

7月号「関大誌上教室」アンケート プレゼント当選者の発表について

今月号の「関大誌上教室」アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します（7月12日に通知予定）。
「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。



食料品製造業/糀・みそ加工職人



下河内糀屋 代表

志賀 野恵さん

大阪府立大塚高等学校出身
2004年社会学部卒業

「自分の手で作れるものは、自分で作りたい」。
やりたいことを続けていけば、夢につながります。

志賀野恵さんは、大阪府南河内郡河南町の下河内地区で、糀やみそを手作りする工房「下河内糀屋」を開いていますが、この仕事を始めるまでに、さまざまな経緯がありました。

志賀さんは高校時代、海外の文化や暮らしを自分の目で見たいという夢を持っていました。その第一歩として、多くの人と出会い、見識を広げるために関西大学社会学部に入学。

大学を卒業した2004年は就職氷河期でしたが、地域限定の女性営業推薦枠で大手食品メーカーに入社します。当時、食品メーカーはまだ女性営業職が少なく、採用の強化を始めた時で、営業職では成果を求められ、毎日遅くまで働いたそうです。商品提案カタログの製作を担当するも、自分ではレシピを活用せず、帰りに弁当を買って食べる日々。「食を提案する仕事なのに、食べ物を扱っている実感がない」と疑問を抱くようになり、ただ働く自分に違和感を覚えて、2008年に退職します。

その時ふと思いついたのが高校時代の夢。志賀さんはバックパッカーとして1年間、世界一周の旅に出ました。韓国、インド、中東や欧州など10カ国以上を回り、後半の半年はキューバ、グアテマラ、メキシコで過ごしました。キューバの漁村での自給自足生活や、メキシコのチアパス州自治区の自らライフラインや学校を造る生活に魅力を感じ、「これが生きていくための仕事だ。日本で実践しよう」と思い立ちました。

帰国後は介護施設や保育園で調理経験を積み、「子どもから高齢者まで安心して食べられるものを作りたい」と思うようになります。そんな時、友人を介して三重県伊賀市の糀職人と出会い、糀づくりを学びました。「これならうちでも作れる」と思い、実家の納屋を改築して、地元のお米や有機栽培のお米、無農薬栽培の大豆を使った昔ながらの製法で糀とみそを作り始めました。手づくり市で販売したみそが売り切れ、翌年はリピーターや口コミで販路が拡大。2017年から本格的に糀とみその製造を開始します。製造量は年々増えていますが、まだ需要を満たしておらず、課題は製造時間を確保することだと志賀さんは言います。「生産者も消費者も両方の顔が見えて、消費者から『おいしくて市販品には戻れない』と言われるとやりがいを感じます」と志賀さん。

ある1日の
スケジュール

6:30 起床、朝食の準備、洗濯など
9:00 保育園に長女を送る
10:00 工房到着、糀づくり
13:00 昼食
14:00 後片付けと翌日の準備
14:30 帰宅
15:00 長男・次男の帰宅
16:30 保育園に長女を迎えに行く
18:00 夕食

「どこにいても、自分で自分の仕事を作っていくという気概を持ってください。周りを気にせず、やりたいことをやり続けていけば、きっと仕事につながるが見つかります」と締めくくりました。



必須アイテムは糀を育てる糀蓋と白米を蒸すための木製の蒸し器、そしてみそを作るみそ樽

Koji and Miso Craftsperson

VIVA!!

学び易



外国語学部 外国語学科

「卒業演習1」

井上典子 教授

英語の奥深さに触れ、創造する楽しさを実感する。

社会に必要な「深く考える力」が身に付く場。

井上典子教授のゼミ「卒業演習1」では、「英詩研究」と「外国人観光客向け観光パンフレット作成活動」を行っています。

英詩研究では、学生がそれぞれ英詩を1つ選び、単語の持つ意味や時代背景などを調査して英語で発表します。発表に対して全員で議論し、英語で内容をまとめます。「外国語学部では、世界を視野に入れて活躍できる高度な外国語コミュニケーション能力を習得するためのカリキュラムが充実しています。英詩研究では限られた文字数の中、単語の意味を深く読み解く力を養います。良い詩は経験や時代背景によって複数の解釈ができ、各時代の社会・文化・思想も見えてきます。お互いの解釈を議論することで多面的な視点が身に付き、英語に対する鋭い感性と深い認識を習得できます」と井上教授。国際社会やビジネス社会では、表面的な言葉の意味だけでは見えない部分を探る場面も多く、物事を深く考える力を身に付けることが研究の意義です。

一方の「外国人観光客向け観光パンフレット作成」は、英詩研究で磨いた英語力を生かし、インバウンドに向けた英語パンフレットを制作するプログラムです。百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録をきっかけに外国人観光客誘致を狙う堺市と、前職の小樽商科大学で、英語を通じた地域貢献教育プロジェクトに取り組んできた井上教授。双方のニーズが合致し、地域連携センターにおける堺市との地域連携事業の一環として行われています。学生たちは、国内外の魅力的なマップを収集・リサーチしたうえで、「外国人観光客が必要とする良い観光マップとは何か」その理想像を議論し、チームごとに企画書を堺市に発表・提案。コンペの結果、「歴史編とチンチン電車（阪堺電車）で巡るグルメ旅編のセット型マップ」が選ばれました。

観光マップの完成・リリースに向けて、プロジェクトリーダーの学生が中心となり、外国人観光客にアンケート調査を実施し、情報分析をしてニーズを確認。アンケート調査では、英語力とコミュニケーション力が試されます。また、日本語からの翻訳では、日本に関する知識や言語が分からない外国人観光客に向けて、誰が読んでも誤解のない英語文章を書く訓練をします。市職員の他、多くの社会人と連携しながら活動する中で、思考力や行動力、そして粘り強さが身に付きます。

「細かい指示は出さず、方向性がそれた時だけ軌道修正します」と井上教授はサポート役に徹しています。ゼミ生の目標は、小樽のマップのクオリティーを超えること。「後輩たちにも、『先輩の作ったものを超えよう』と思われるものを作ってほしい」と井上教授。

観光マップは来年1月頃の完成を目指しており、大阪府内の観光案内所に配布される予定です。この観光マップを手に取りながら歩く、外国人観光客を目にする日が近づいています。



小島里香さん(4年次生)

英語で物作りをしたいと考えこのゼミを選びました。現在、プロジェクトリーダーをしています。決断力と仕事の振り分け能力が身に付いたと思います。多くの社会人と実践形式で取り組めるので、社会勉強になります。一つのことをやり遂げたい学生にぴったりのゼミです。



小島薫己さん(4年次生)

2年次の留学経験をパンフレット制作に生かしたいと考えて参加しました。人を支援して感謝してもらえる仕事に就きたいと考えており、特に、海外に進出する企業や個人を支援していきたいです。真面目に取り組みながらも楽しめるメリハリのあるゼミです。



井上典子 教授

ゼミでは、英語の運用能力はもろること、奥深くテキストを読み込んで知識を総合的に高めていく学習を行います。英語と真剣に向き合いたい人、英語を使って何かを創造したい人、そして、関西大学で「これを成し遂げた」という集大成を残したい人に積極的に参加してほしいです。



関西大学の“五輪群像”

東京五輪開催まで1年余り。チケットの購入も始まり関心は高まるばかりです。そこで今月号では、関西大学出身の歴代出場選手をピックアップしました。1964(昭和39)年の東京五輪で日本選手団長などを務めた故・大島鎌吉氏(1908~1985)から、2018(平成30)年の冬季平昌大会4位の宮原知子さんまで、そうそうたるメンバーです。



東京五輪レスリングで金メダルを獲得した市口政光氏



サッカー日本代表として活躍した湯口栄蔵氏

夏季五輪の代表格は三段跳びの大島鎌吉氏

「走るだけなら馬でも走る。もっと本を読もう」のセリフで有名だったのは大島氏。金沢商業学校で三段跳びに熱中し、首都圏の大学から引く手あまたでしたが、生来の反骨精神で「東京がなんだ」と関西大学に進みました。文武両道の典型で、在学中の1932(昭和7)年、ロサンゼルス五輪の三段跳びで銅メダルを獲得しました。



ロサンゼルス五輪での大島鎌吉氏銅メダルジャンプ



ロサンゼルス五輪三段跳びメダリスト(大島鎌吉氏:右)

オリンピック精神と平和主義

大島氏は1964年の東京五輪で選手強化対策本部長、日本選手団長を務めました。その見識と手腕の背景にあったのは、大島氏がオリンピックの精神からくみ上げた平和主義や国際主義です。東京五輪後のオリンピック・ kongressでは平和運動家、ノエル・バーカー卿らと行動を共にし、こうした世界的貢献に対し、その後、国際オリンピック参加者協会から日本人初の「五輪平和賞」を受けました。

その際の国際シンポジウムで氏は「世界の300万人五輪経験者よ。草の根平和運動に結集せよ」と呼び掛けました。その後、本学は1988(昭和63)年に「大島鎌吉スポーツ文化賞(当時名称)」を創設。優秀な成績を収めた本学の学生らを表彰するほか、今秋には記念シンポジウムを開催します。

冬季五輪は佐藤夫妻ら、パラリンピックは和田伸也さん

冬季五輪出場で関大勢が目目されたのは、1960(昭和35)年から連続2回ずつ出場し活躍した佐藤信夫、久美子夫妻です。その後、関西大学のたかつきアイスアリーナが完成するなど練習環境の整備も重なり、高橋大輔さん、織田信成さん、宮原知子さんをはじめ各選手らの活躍が続いています。

パラリンピックではここ数年、和田伸也さんの活躍が目立ちます。ロンドン大会の5000mで銅メダルを獲得、その次のリオデジャネイロ大会のマラソンで5位に入賞するなど、長距離界で注目されています。



インスブルック冬季五輪で8位に入った佐藤信夫氏

関西大学出身オリンピック出場選手一覧

夏季大会

選手名	年・開催都市	競技・種目	最終結果
大島 鎌吉	1932年・ロサンゼルス	男子三段跳び	銅メダル(3位)
	1936年・ベルリン	男子三段跳び	6位入賞
長尾 三郎	1932年・ロサンゼルス	男子やり投げ	10位
	1936年・ベルリン	男子やり投げ	予選欠場
谷口 睦生	1936年・ベルリン	男子200m	2次予選で落選記録なし
福田(森山)時雄	1936年・ベルリン	男子400mハードル	予選で落選
古川 好男	1936年・ベルリン	男子走り幅跳び	予選で落選
古田 康治	1936年・ベルリン	男子110mハードル	予選で落選記録なし
園田裕四郎	1956年・メルボルン	男子走り幅跳び	予選で落選
古川 好男	1956年・メルボルン	サッカー	グループリーグ敗退
市口 政光	1960年・ローマ	レスリング	7位
	1964年・東京	レスリング	金メダル(1位)
重岡 完治	1960年・ローマ	レスリング	2回戦(失格)
湯口 栄蔵	1968年・メキシコシティ	サッカー	銅メダル(3位)
若原 尚	1988年・ソウル	馬術	失権
山田沙知子	2000年・シドニー	水泳・競泳	8位入賞
	2004年・アテネ	水泳・競泳	6位入賞
下小鶴 綾	2004年・アテネ	サッカー	7位入賞(準々決勝敗退)
東 佳弘	2012年・ロンドン	男子4×400mリレー	予選敗退
高野 芹奈	2016年・リオデジャネイロ	セーリング	20位

冬季大会

選手名	年・開催都市	競技・種目	最終結果
佐藤 信夫	1960年・スコーパーレ	フィギュアスケート	14位
	1964年・インスブルック	フィギュアスケート	8位
大川久美子	1964年・インスブルック	フィギュアスケート	13位
	1968年・グルノーブル	フィギュアスケート	8位
三宅 陽子	2002年・ソルトレークシティ	スキー・スノーボード	8位入賞
	2006年・トリノ	フィギュアスケート	8位入賞
高橋 大輔	2010年・バンクーバー	フィギュアスケート	銅メダル(3位)
	2014年・ソチ	フィギュアスケート	6位入賞
織田 信成	2010年・バンクーバー	フィギュアスケート	7位入賞
町田 樹	2014年・ソチ	フィギュアスケート	5位入賞
宮原 知子	2018年・平昌	フィギュアスケート	4位入賞
村元 哉中	2018年・平昌	アイスダンス	15位

パラリンピック

選手名	年・開催都市	競技・種目	最終結果
和田 伸也	2012年・ロンドン	5000m	銅メダル(3位)
	2012年・ロンドン	マラソン	5位入賞
	2016年・リオデジャネイロ	1500m	6位入賞
	2016年・リオデジャネイロ	5000m	6位入賞
	2016年・リオデジャネイロ	マラソン	5位入賞



人間健康学部 4年次生

明石 華奈さん

困難なことにチャレンジするのが好き。新たな目標に向かって全力疾走中。

約200人を擁するストリートダンスサークルSoul Beat Crew。豊富なダンス経験とイベントを取り仕切るうまさ評価されて、代表に推薦された明石華奈さんは、小学3年からヒップホップダンスを続ける筋金入りのダンサーです。

ヒップホップはアメリカで生まれた文化で、その要素の一つであるブレイキンから派生したヒップホップダンスは、ユースオリンピックの正式種目に選ばれるほど大衆化。ゼミでは、反社会的文化だったストリートダンスが、社会の主流をなす文化として受け入れられた経緯を調査し、卒業論文にまとめているそうです。

そんな明石さんの初舞台は、小学5年の時の子どもダンスミュージカル。厳しい稽古を乗り越えて迎えた本番が終わると、達成感から泣いてしまったと言います。中学・高校ではダンスの他、歌や芝居にも挑戦し、高校時代は体育祭を運営する体育委員長も務めました。一貫して続けていたのはヒップホップダンスでした。

人間健康学部のAO入試では、これまでの活動が評価されて見事合格。入学後すぐに、千里山を拠点とするSoul Beat Crewに入部します。練習はほぼ毎日、約2時間ありましたが、参加は週1回のペースでした。理由は、小学生のダンスレッスンや高校ダンス部の外部コーチ、イベントへのダンス作品の出展、同世代3人で組んだチーム「クノイチ」の活動があったからです。しかし、しばらくすると、さまざまなことを引き受け過ぎた結果睡眠時間が少なくなり、体調を崩します。その時はダンスが嫌いになり踊りたくなかったのだとか。気持ちを切り替えるために「目標につながるものだけを選ぼう」と決め、スケジュールを改善。自分との向き合い方が変わり、再びダンスが楽しくなったそうです。

明石さんは、さまざまな大会に出場し、輝かしい成績を残しています。特に印象に残るのは、19歳の時に一人で参加した初めての海外のダンス・ソロバトル「KICK&SNARE in Malaysia」での優勝。そして、2年次に先輩の成績を越えて達成した「大学戦3on3バトル」年間優勝と「グランドチャンピオン大会」優勝。そしてクノイチで初めて獲得した「BIGBANG show case」特別賞です。仲間と息を合わせるのもダンスの魅力だと言います。つらい練習も結果が出るようになって「やってきて良かった」と思えるようになったと笑顔で話します。

「これからもダンスと関わる目標に向かって前進していきます」と前を見据えました。



「BIGBANG OSAKA」にてクノイチで初めて賞を獲得

今回は、明石さんからのご紹介で仲田 充孝さん(環都3)が登場。お楽しみに!



Hana Akashi

2018年度 学校法人関西大学 決算の概要

— 教育の質保証とさらなる向上を目指して —

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 はじめに

2018年度決算は、常任理事会の審議を経て、理事会（2019年5月16日）で議決・承認され、評議員会（2019年5月30日）に報告いたしました。

振り返りますと、2018年度は全国的に多くの災害に見舞われた年でした。これまで比較的、自然災害が少ないと思われた大阪も、「大阪府北部地震」や記録的な猛暑、大型台風に見舞われ、本法人でも多くの施設設備が損傷し、被害を受けました。幸い、学生、生徒、児童等の安全は確保できましたが、この災害を教訓とし、学園全体で危機管理の在り方を再点検しております。

また、2018年度は、(公財)大学基準協会による機関別認証評価を受審し、適合認定を受けました。現在、最終的な評価結果を踏まえた改善に取り組んでいるほか、内部質保証のさらなる推進に向け、社会の情勢や今後の人口推移等を踏まえつつ、新しい時代にふさわしい教育・研究・社会貢献を展開するため、法人としては、持続可能な経営基盤の確立を最優先に取り組んでまいります。

2 事業の概要

2018年度に実施した事業のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動

ア KANDAI for SDGs推進プロジェクトの設置

SDGsは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。

これまで本学においては、建学の精神や学是「学の実化」のもとで展開されてきたさまざまな教育研究活動が、社会のあるべき姿を提案し、さらには社会が直面するさまざまな課題の解決に寄与してきたところ。SDGsが目指す「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」という世界規模の理念・目標に対して、本学に受け継がれてきた知と精神をもって取り組んでいくことは極めて有意義であると考えられるため、学長のもとにKANDAI for SDGs推進プロジェクトを設置し、2019年3月にはウェブサイトを開設しました。

今後も教育・研究・社会連携・国際活動・そのほかの教育研究活動においてSDGs達成に向けた取り組みを推進してまいります。

イ 文部科学省「平成30年度大学の世界展開力強化事業(COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援)」の展開

本学が取り組んできたCOIL型教育の実績を踏まえて構築した「グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム」が、2018年度の文部科学省の世界展開力強化事業タイプB:交流推進・プラットフォーム構築プログラムに採択されました。

これを受けて国際部に、「グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)」を開設し、学内外の交流プログラムの構築・運営を支援するとともに、COIL型教育を実践する全国の高等教育機関や企業・団体などから構成されるJPN-COIL協議会事務局として運用を開始しました。特に、12月に開催したシンポジウムには、海外からの招へい者を含め110人を超える参加者が集まり、マッチングサイトの運用やCOILに関する活発な情報交換が行われました。

*COIL: Collaborative Online International Learning (オンライン国際交流学習)



【COIL型教育の様子】

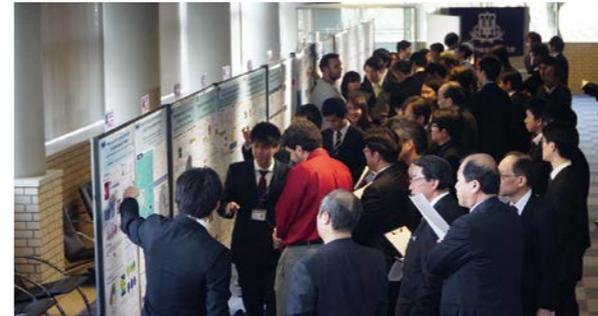
ウ 関西大学心理臨床センターの機能強化

心理臨床センターは、千里山と梅田の2つのカウンセリングルームを2019年1月に統合し、千里山キャンパス児島惟謙館3階に新たなカウンセリングルームが誕生しました。統合によって、集団療法室や大学院生への指導を行うカンファレンスルームなど施設面の拡充および相談員体制の強化が図られました。

公認心理師資格取得のためには、実習時間および実習内容が重要な要素ですが、心理臨床センターはその役割を十分に果たせる施設となっています。

エ 文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の推進

2016年度選定の「KU-SMART PROJECT「人に届く」関大メディカルポリマー(KUMP)による未来医療の創出」については、プロジェクトの成果を広く周知するため、1月に千里山キャンパスにおいて国際シンポジウムを2日間にわたって開催しました。欧米、アジアなど国内外から著名な研究者12人を招へいし、連携先である大阪医科大学の研究者も加わり、プロジェクトメンバーから最新の研究状況を披露しました。さらに、本研究をもとに大学発ベンチャー企業を立ち上げることもできました。



【国際シンポジウムポスターセッションの様子】

2017年度選定の「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究(KU-ORCAS)」については、研究リソース・研究グループ・研究成果のオープン化を目指して、国際シンポジウム開催などの成果公開活動を活発に行いました。2018年度末には東アジア文化研究オープン・プラットフォームシステムを開発し、国際規格IIIF(トリプルアイエフ)に準拠したデジタルアーカイブを構築しました。



【「関西大学の東アジア研究 なぜ?から始まるミステリー」ポスター広告】

オ 外国語学部におけるスタディ・アブロード・プログラムの拡充

外国語学部スタディ・アブロード・プログラム(2年次全員必修)において、10カ国15大学目となるドイツのヨハネス・グーテンベルク大学マインツ校との協定を締結しました。英語に加えて現地の言語と2つの言語習得を目指すクロス留学プログラムを展開する予定で、ドイツ語は、中国語、朝鮮語、ロシア語に続く4言語目のプログラムとなります。

カ 梅田キャンパス事業の展開

次代の起業・創業者を育成支援するために2018年度も株式会社関西TSUTAYAと業務提携してスタートアップカフェ大阪を運営しました。2018年度は、各種啓発イベントを170件実施し、延べ2,966人が参加しました。個別の相談件数は延べ1,085件で、開設以来50件の起業・創業者が実現しています。

また、2020年度からの初等教育でのプログラミング教育の必須化を視座して、本学学生による創造コミュニティ「ZAC Studio」を結成して梅田キャンパスを拠点に本格的活動を開始しました。地域連携事業のチャリウッドや大阪南港ATCでの特別企画などで小学生を対象としたプログラミング講座を精力的に実施しました。



【ZAC Studioによるプログラミング講座風景】

キ 大学発ベンチャー「関西大学起業資金支援制度」の運用を開始

本学が行ってきた起業支援に関する取り組みを「関西大学ベンチャー育成プラットフォーム(KU+UP: KU Platform for Startup Support)」と位置付け、その一つとして、本学での研究成果などを基に起業する者に対する起業資金支援制度の運用を開始しました。

これは本法人が新事業創出支援基金として拠出した資金を、本学学生や教員などによる関大発ベンチャー企業として創業した株式会社に対し出資するものです。2018年度は、公募の結果、審査を経て2件の資金支援を決定しました。

ク 就職状況・キャリア形成支援について

2018年度就職環境は、多くの業界において採用意欲がより一層高まり、人材確保のために内定を出す時期を早める企業も増え、2017年度以上に「売り手市場」の傾向が強くなりました。多くの企業から内々定が出される6月以降も、合同企業セミナー、単独企業セミナーなど、時期に応じたさまざまな支援プログラムを実施し、最終的に2018年度卒業生の就職率は前年度比0.1%増の98.5%となりました。

エクステンション・リードセンターでは、英語、公務員、司法、会計職、SPI試験対策、そのほか資格講座など合計13講座を開講し、受講生は延べ3,310人となりました。とりわけ、英語講座TOEIC®L&R/IELTS™各テスト対策コースにおける、英語力テスト対策を図る海外滞在型プログラムには計58人が参加しました。また、公務員講座受講生が本学公務員就職者数の約6割を占め、難関資格試験の一つである公認会計士試験では受講生から13人の合格者を輩出するなど、学生のニーズに対応しつつ実成果を上げています。

(2) 教育研究環境の整備充実関係

ア 「北部大阪都市計画関西大学地区地区計画」の施行

千里山キャンパスは建ぺい率が法的規制の上限に達し、これ以上学舎等の建築ができないことから、千里山キャンパスの狭隘化解消に向けて、建物の高さ制限の規制緩和について吹田市と協議を重ねてきました。

このたび、緑豊かなキャンパスを維持する風致地区指定に加え、さらに良好な教育研究環境を充実させる観点から、吹田市の「北部大阪都市計画関西大学地区地区計画(2018年3月30日付)」が決定・施行されました。このことにより風致地区指定の15m、高度地区指定の16mを上回る、高さ31m、キャンパス中心地の一部では高さ45mが認められ、既存学舎等の建替えで高層化することにより学舎等の拡張が可能になりました。

イ 「未耐震建物の耐震改修工事等」の実施

本学では学舎の未耐震建物の耐震改修工事はすべて完了していますが、先般の大阪府北部地震を受け、学生・生徒等の安全安心な学校生活を確保するため、誠之館群の未耐震建物の耐震改修工事、大規模ホール等の天井耐震改修工事、教育会館の耐震改修工事を行いました。

3 収支計算書

学校法人は、文部科学省令の「学校法人会計基準に基づき、財務計算に関する下記の計算書等を作成することになっています。

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。資金の動きのすべてが計算の対象となります。

「事業活動収支計算書」は、学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点(決算日)における資産、負債、純資産の財政状態を示すものです。

「財産目録」は、「貸借対照表」を基準にして組み替えて作成したものです。

「監査報告書」には、私立学校法第37条第3項第3号に基づく監事による「監事監査報告書」および私立学校振興助成法第14条第3項に基づく監査法人による「独立監査人の監査報告書」があります。

ここでは紙幅の関係上、計算書類の総括表のみ掲載しておりますが、「関西大学ウェブサイト」に財産目録などの詳細な財務情報を掲載いたしておりますので、ご覧ください。

【URL:<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>】

4 収支決算の概要

(1) 資金収支決算

2018年度資金収支決算は、12ページに掲載の「資金収支計算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、539億3,414万4,990円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出を含め、541億4,843万3,360円となりました。この結果、収支差引き2億1,428万8,370円の支出超過となり、これに前年度繰越支払資金143億5,305万7,119円をあわせた結果、翌年度繰越支払資金は、141億3,876万8,749円となりました。

(2) 事業活動収支決算

2018年度事業活動収支決算は、12ページに掲載の「事業活動収支計算書(総括)」のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、教職員の人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額が18億631万5,722円の収入超過となり、予算に対し13億8,246万1,722円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は4億9,871万6,712円の収入超過となりました。この結果、経常収支差額は23億503万2,434円の収入超過となり、予算に対し14億9,655万7,434円の増となりました。これに資産の売却や処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額2億6,866万2,631円の収入超過を加えた基本金組入前当年度収支差額は25億7,369万5,065円の収入超過となり、予算に対し23億3,580万4,065円増加しました。

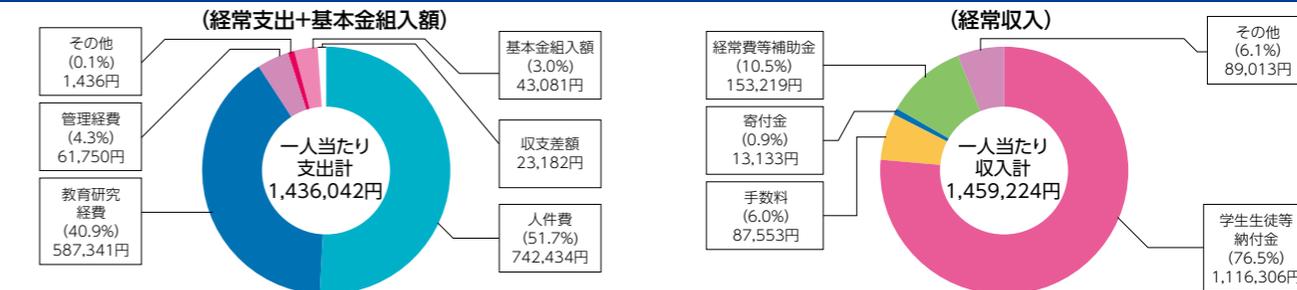
一方、基本金組入額は、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済などの主として資本的支出に充てるもので、14億9,973万3,884円となり、予算に対し4億6,937万1,116円の減となっています。

2018年度決算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた10億7,396万1,181円の収入超過となり、予算に対し28億517万5,181円改善しました。この結果、当年度収支差額と前年度繰越収支差額の合計から、翌年度繰越収支差額は247億1,968万7,348円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

2018年度末(2019年3月31日)現在の資産、負債、純資産の財政状態を示しています。

2018年度 事業活動収支決算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支決算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)および収入(教育活動収入、教育活動外収入)の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数34,739人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支計算書(総括) 2018年4月1日から2019年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 人件費支出	25,783,302,000	25,781,412,526	1,889,474	1 学生生徒等納付金収入	38,491,753,000	38,776,617,128	△ 284,864,128
2 教育研究経費支出	14,806,073,000	14,450,780,150	355,292,850	2 手数料収入	2,706,649,000	3,060,663,498	△ 354,014,498
3 管理経費支出	1,891,620,000	2,078,053,275	△ 186,433,275	3 寄付金収入	460,000,000	469,097,082	△ 9,097,082
4 借入金等利息支出	40,591,000	31,426,801	9,164,199	4 補助金収入	5,074,049,000	5,544,616,398	△ 470,567,398
5 借入金等返済支出	1,536,070,000	1,536,070,000	0	5 資産売却収入	502,683,000	698,210,213	△ 195,527,213
6 施設関係支出	1,707,808,000	1,333,162,519	374,645,481	6 付随事業・収益事業収入	1,117,638,000	1,188,483,427	△ 70,845,427
7 設備関係支出	1,595,053,000	1,537,980,016	57,072,984	7 受取利息・配当金収入	425,212,000	530,143,513	△ 104,931,513
8 資産運用支出	3,928,317,000	6,002,136,417	△ 2,073,819,417	8 雑収入	1,222,876,000	1,340,863,009	△ 117,987,009
9 その他の支出	3,348,674,000	3,443,559,273	△ 94,885,273	9 借入金等収入	0	0	0
10 予備費	500,000,000	-	500,000,000	10 前受金収入	6,282,301,000	6,641,489,173	△ 359,188,173
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,635,193,000	△ 2,046,147,617	410,954,617	11 その他の収入	3,690,003,000	3,461,040,434	228,962,566
12 翌年度繰越支払資金	13,383,616,000	14,138,768,749	△ 646,118,360	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 7,440,290,000	△ 7,777,078,885	336,788,885
			△ 755,152,749	13 前年度繰越支払資金	14,353,057,000	14,353,057,119	△ 119
支出の部合計	66,885,931,000	68,287,202,109	△ 1,401,271,109	収入の部合計	66,885,931,000	68,287,202,109	△ 1,401,271,109

(注) 予算の流用を含む。

事業活動収支計算書(総括) 2018年4月1日から2019年3月31日まで

事業活動収支計算書(総括)				
(単位 円)				
科目	予算		決算	
	予算	決算	差異	差異
1 学生生徒等納付金	38,491,753,000	38,776,617,128	△ 284,864,128	△ 195,527,213
2 手数料	2,706,649,000	3,060,663,498	△ 354,014,498	△ 184,697,963
3 寄付金	466,000,000	478,951,184	△ 12,951,184	△ 380,225,176
4 経常費等補助金	5,058,839,000	5,317,881,398	△ 259,042,398	
5 付随事業収入	1,117,638,000	1,188,483,427	△ 70,845,427	
6 雑収入	1,222,876,000	1,339,232,633	△ 116,356,633	
教育活動収入計	49,063,755,000	50,161,829,268	△ 1,098,074,268	
1 人件費	25,796,886,000	25,763,479,233	33,406,767	
2 教育研究経費	20,839,142,000	20,427,296,990	411,845,010	
3 管理経費	2,003,873,000	2,162,235,885	△ 158,362,885	
4 徴収不能額等	0	2,501,438	△ 2,501,438	
教育活動支出計	48,639,901,000	48,355,513,546	284,387,454	
教育活動収支差額	423,854,000	1,806,315,722	△ 1,382,461,722	
1 受取利息・配当金	425,212,000	530,143,513	△ 104,931,513	
2 その他の教育活動外収入	0	0	0	
教育活動外収入計	425,212,000	530,143,513	△ 104,931,513	
1 借入金等利息	40,591,000	31,426,801	9,164,199	
2 その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	40,591,000	31,426,801	9,164,199	
教育活動外収支差額	384,621,000	498,716,712	△ 114,095,712	
経常収支差額	808,475,000	2,305,032,434	△ 1,496,557,434	

(注) 予算の流用を含む。

貸借対照表 2019年3月31日

貸借対照表			
(単位 円)			
科目	2018年度末	2017年度末	増減
資産の部			
固定資産	210,597,081,209	209,048,774,842	1,548,306,367
有形固定資産	114,873,681,895	118,235,247,341	△ 3,361,565,446
特定資産	93,136,446,785	87,988,332,389	5,148,114,396
その他の固定資産	2,586,952,529	2,825,195,112	△ 238,242,583
流動資産	15,741,814,943	16,609,404,168	△ 867,589,225
資産の部 合計	226,338,896,152	225,658,179,010	680,717,142
負債の部			
固定負債	17,947,692,834	19,490,161,068	△ 1,542,468,234
流動負債	10,833,185,105	11,183,694,794	△ 350,509,689
負債の部 合計	28,780,877,939	30,673,855,862	△ 1,892,977,923
純資産の部			
基本金	222,277,705,561	220,777,971,677	1,499,733,884
第1号基本金	198,864,414,218	197,290,716,851	1,573,697,367
第2号基本金	0	100,000,000	△ 100,000,000
第3号基本金	20,000,291,343	19,974,254,826	26,036,517
第4号基本金	3,413,000,000	3,413,000,000	0
繰越収支差額	△ 24,719,687,348	△ 25,793,648,529	1,073,961,181
翌年度繰越収支差額	△ 24,719,687,348	△ 25,793,648,529	1,073,961,181
純資産の部 合計	197,558,018,213	194,984,323,148	2,573,695,065
負債及び純資産の部 合計	226,338,896,152	225,658,179,010	680,717,142

学部・研究科ピックアップ

法学部 / 法学研究科

大学での勉学における主体性の重要性

学生主任の業務の一環として、成績で悩んでいる方達のお話を聞く機会がありました。

その中で、「真面目に授業にも出席し、勉強をサボっていないのに単位が取れない」という悩み相談が印象的でした。

自分にも心当たりがあるという方は、自分自身で考えることを怠っていませんか。教員に言われたことを機械的にインプットするのではなく、自分自身で考え、理解し、消化していく、という姿勢、すなわち主体性が成績アップの王道です。

(学生主任 金玲准教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

政策公務セミナーを実施しています

政策創造学部では、地域で活躍する人材を育成すべく、政策公務セミナーを実施しています。



本年も関西近隣の自治体からゲストスピーカーをお呼びして、地域活性化に向けた実践例をお話いただきます。学生たちの積極的な参加を期待しています。

(教学主任 橋口勝利教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

論文構想発表会の実施

東アジア文化研究科では毎年2回、「論文構想発表会」を実施しています。博士論文および修士論文の提出を控えている学生に、博論・修論のプランにつきプレゼンしてもらうのです。年2回開催するのは春学期と秋学期の入学生がいるからで、今回は4月12日、博士後期課程6名と前期課程8名、中国からの交換派遣留学生1名の計15名が発表しました。教員・学生の多くがこれを聴き、活発な質疑応答が交わされました。院生にとっては緊張の時間ですが、新たなステップに踏み出す貴重な機会でもあります。

(東アジア文化研究科教学委員 吾妻重二教授)

経済学部 / 経済学研究科

GoLDプログラムにチャレンジ

経済学部では、独自の留学制度(GoLDプログラム)を実施しています。プログラム内容としては、海外で外国語や現地経済を学びます。



今後応募可能な留学先は、台湾(約7日間)、ベトナム(約9日間)、オーストラリア(約37日間)です。留学未経験者でもチャレンジしやすい内容ですので、参加を考えてはどうでしょうか。

(学部長 野坂博南教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

社会福祉士国家試験合格!

第31回社会福祉士国家試験の合格発表が行われ、人間健康学部・福祉と健康コースの6期生18人が、見事合格を果たしました。ここ数年、社会福祉士養成課程をもつ関関同立のなかでも、トップの合格率を維持しています(今回、関大新卒78.3%、全国29.9%)。

新たに社会福祉士となった卒業生の18人は、福祉施設・機関、行政、民間企業などそれぞれの現場で、本学の養成課程を通して学んだソーシャルワークの威力を十分に発揮してくれるものと期待しています。

(教学主任 西川知亨准教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

KUBIC2019開催!

KUBIC(関西大学ビジネスプラン・コンペティション)が今年も開催されます。全国の高校生・大学生・一般の方々から優れたビジネスプランが応募されました。今年のキャッチ・コピーは「踏み出す一歩が未来を変える」。協賛企業、学生実行委員、教員が一体となって参加者に楽しんでいただけるイベントを展開します。

本選会は10月5日(土)に千里山キャンパスBIGホール100で開催。当日ご参加いただいた方には、景品が当たるチャンスがあります。ぜひご参加ください。

(岩崎拓也准教授)

社会学部 / 社会学研究科

日本メディアの中国取材

5月30日に金順姫氏による講演会「日本メディアの中国取材」がありました。金氏は、朝日新聞社上海支局長を務められた後、現在は京都総局次長をされています。記者がどのようにして事実に迫ろうとするのか、どのようなプロセスを経て記事が出来上がるのかについて、具体的な事例からお話しされました。

社会学部では毎年たくさんの講演会が開催されます。このような講演会に出席することも大学生活の楽しみの一つです。新しい知的刺激を与えてくれるはず。ぜひ参加してください。

(学生相談主事 富田英典教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

2020年度入試が始まっています

会計専門職大学院の入学試験は、7月、10月、1月および3月に実施されますが、10月以降の入試では、卒業見込みの4年次生のみならず、飛び級を利用して3年次生も受験することができます。会計専門職大学院では、さまざまな入試種別、すなわち既に会計を学習済みの学生向けに学力重視方式試験やこれから会計を学ぶ学生向けに素養重視方式試験があり、また学部を問わず関大生は学内進学試験、留学生は外国人留学生試験を選択することもできます。

社会に出る前により高度な能力を身に付けませんか。進学説明会も実施しますので、興味のある方は、入試情報をご覧ください。

(副研究科長 三島徹也教授)



併設校トピックス

関西大学北陽中学校

中1新入生宿泊オリエンテーション実施

4月9日から2泊3日で滋賀県高島市にて新入生119人がオリエンテーションを行いました。



本オリエンテーションの目的は大きく二つあります。一つは、クラスメートや先生と良好な人間関係の基礎を築くこと、もう一つは、集団行動におけるルールやマナーを身に付け、今後の規律ある学校生活への第一歩を目的としています。

今年度は、ドッジボール大会を行い、アイスクリーム作りやカレー作り、イニシアティブゲームでは生徒全員が目や顔を輝かせて楽しみ、友達もすぐにできていたようです。規律のある集団行動と楽しいプログラムを経験した生徒たちは翌週からの学習に胸を高鳴らせていました。

(川崎安章教頭)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

夏に向けて

春学期が始まっては3カ月が過ぎ、7月後半には学習の成果を確認する「到達度の確認」[定期試験]が行われます。今学期の成果を存分に発揮できるように、十分に準備をしましょう。ただ、試験日程が連続しますので、ついつい直前の試験対策に陥ってしまいがちです。学習支援室や担当教員のオフィスアワー等をうまく活用していただきたいと思います。直前よりは計画的に少し前もって相談した方が、より効率的に準備が進められると思います。

試験が終われば夏休みとなります。皆さんどのように過ごされますか。すでに予定がいっぱ

いの人もいることでしょう。これから、この長い休暇をどのように過ごすかを考えようという人は、大学キャンパスに来る必要が無い期間ということを生かした体験を計画してみてください。

例えば、インターンシップなどで就業体験をするのはどうでしょう。1、2年次生はまだ就職なんて考えられないと思う人も多いと思いますが、就業体験が将来の仕事について考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。

また、旅行で非日常の体験をするのはどうでしょう。特に、旅行や短期留学、海外体験研修な

どで海外を訪れ、日本とは異なる文化、日本語以外でのコミュニケーションなどの体験をするのも長期休暇期間ならではです。ただ、地域によっては危険を伴うところもありますので、訪れる場所をよく吟味した上で考えてみてください。

夏休みは、自らの計画に基づいてさまざまな経験ができる大学生活の大切な一部です。日頃できない経験を積むことをお勧めしますが、くれぐれも関大生であることを自覚し、行動するようにしてください。

(化学生命工学部入試主任 矢島辰雄教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

自然災害発生時の休講等の取り扱いについて

2019年4月の学内規程の変更に伴い、『大学要覧』等に掲載していた「暴風警報等発令および交通機関の運行停止に伴う授業の取り扱いについて」は、「自然災害発生時の休講等の取り扱いについて」として見直しました。休講等の周知および授業再開の周知は、関西大学ウェブサイトやインフォメーションシステム等を通じて速やかに行います。

「自然災害発生時の休講等の取り扱いについて」の詳細は、右の2次元バーコードからご確認ください。



▲自然災害発生時の休講等の取り扱いについて

関西大学公式Twitterでは、大学ウェブサイトの補完的な位置付けとして、本学に関する情報等を発信しています。在学生に対して緊急性が高いと判断した情報は、公式Twitterでも発信しますので、ぜひフォローしてください。



関大トピックス

環境都市工学部・西澤英和教授が 日本建築学会賞を受賞

環境都市工学部の西澤英和教授が、一般社団法人日本建築学会主催の2019年日本建築学会賞(論文)を受賞しました。



本賞は、学術の進歩に寄与する優れた論文に授与されるもので、西澤教授は論文「耐震木造技術の近現代史」で、木造建築の耐震工法において、現代木造建築が伝統木造建築から学ぶべき事項を分析。木造の耐震技術の発展に大きな示唆を与え、近代建築史に新しい視点を開いたとして、建築学会全体に与えた影響力は大きいと評価され、受賞に至りました。

三大学連携協力協定締結記念特別展 「ポアンソードとその教え子たち」 in 関西大学を開催

法政大学・明治大学・関西大学三大学連携協力協定締結記念として、特別展「ポアンソードとその教え子たち」を6月1日～7月20日(土)の期間、関西大学博物館で開催しています。3大学のルーツは法学教育にあり、いずれも「日本近代法の父」と呼ばれるポアンソード博士に薫陶を受けた若き法曹家たちが中心となって、1880年代に法律学校として設立したという共通点を持ちます。順に実施している本特別展では、3大学の礎となる貴重な資料を展示しています。



6月15日には関連企画として、記念シンポジウム「働くことと学ぶこと～商都大阪と関西法律学校～」を開催。法政大学総長、明治大学副学長を迎え、法学部の市原靖久教授と藪田貞名教授による基調講演とパネルディスカッションを行いました。

大会初の両校優勝—総合関関戦

6月9日および14日～16日の4日間、関西学院大学上ヶ原キャンパスを中心に行われた第42回総合関関戦において、双方譲らず17勝17敗3分の成績で両校優勝となり、通算成績は17勝23敗1分となりました。

今年の大会スローガンは「凌駕」。双方の大学とも相手大学を勝敗だけで上回るのではなく、体育会全体の団結力や技量で圧倒したいという思いが込められています。

2連覇を目指した関西大学KAISERSは、前哨戦は5勝7敗と黒星が2つ先行する苦しいスタートでしたが、本戦第1日目(6月9日)にバレーボール、柔道、野球、重量挙げで確実に勝利して、11勝12敗2分と巻き返します。

そして迎えた最終日(6月16日)、ソフトテニス、漕艇、レスリング、フェンシング等の勝利で総合優勝に近づきますが、最終的に17勝17敗3分となり、今年度の大会を終了しました。



(写真提供：関大スポーツ編集局)

「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認」の注意事項・受験心得 初めて試験を受ける1年次生必見!

① 学生証は必需品!

学生証がない場合は試験を受験できません。

○紛失した場合：再発行の手続きを。

教務センター、または各キャンパス事務室にて。

○試験当日に忘れた場合：「受験許可証」の発行を。

教務センター・各学舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室にて。

④ 不正行為には厳正に対処します!

不正行為をした場合は、春学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目も一切受験できません。また、答案の持ち帰り、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。

② 遅刻は厳禁!

授業も試験も遅刻は厳禁。受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。

⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は…

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認」に相当する学力確認を受けることができます(1科目につき、受験料1,000円)。

教務センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。

③ 試験前の確認!

通常授業と曜限や教室が異なったり、同じ科目でも教室が分かれている場合があります。事前に試験システムの確認を忘れずに。

○学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし、消せるボールペンは使用不可)

○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。

⑥ 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。

詳細は「試験システム」等で確認してください。

関大人 四方山話 ◆「自立とは依存先を増やすこと!」

よもやまばなし



障害者の自立生活運動には、少子高齢社会を前向きに生き抜くための知恵が豊富だ。熊谷晋一郎さん(東京大学先端科学技術研究センター)は、自ら脳性マヒの障害を持つ小児科医だが、彼の「自立とは依存先を増やすこと!」という逆説的定義に思わず目からうろこが落ちた。「えっ、自立って依存しない状態をいうんじゃないの? 英語は in-dependent というじゃない。」と…。確かにこれまで自立、自立と、自律神経失調症になるくらい「人に頼るな、自分の足で立て。」

人権問題研究室長 社会学部教授 加納 恵子

と、教えられてきた。しかし、これからの社会は「依存する自立」の方がしっくりくる。

私は、毎年バリアフリー展に学生を連れて行くが、福祉に興味のなかった学生たちも福祉車両やリハビリ・ロボット、味や見た目の優れた介護食、おしゃれなおむつ、凛々しい介助犬…に出会って目が輝き始める。次世代が、先端の支援テクノロジーに触れて、これまでの「強迫的な自立観」から解放され依存先が豊かな社会を選択してくれればと願う。

編集後記

『関西大学通信』第476号の特集は「夏の旅」です。大学生の頃、夏休みに入ると、所属していたサークルの合宿で離島や地方の小さな小学校の体育館に寝泊りさせていただきながら、地元の子供たちと交流する活動をしていました。日常から離れて、異なる環境で生活する人たちと交わった経験は、今でも懐かしく、貴重なものだったと感じます。学生時代にしかできないことは、きっとたくさんあると思います!ぜひこの夏、素晴らしい経験をしてください。

(広報委員・総務局次長 福田聡)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2019年7月12日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

写真提供: 福井 敬明さん(理工学研究科 M2)